

## 医療の質と活動の実態調査・改善事業について

2023年4月5日

岡山済生会総合病院

当院では、より質の高い医療・公衆衛生の向上のため、私達が行っている医療の内容を客観的に評価しながら、さらに改善させてゆくことが大事だと考えております。

そこで、当院では研究機関と協力して、お受けになった入院および外来診療に関するデータを完全に匿名化した状態で収集して客観的に分析し、医療や施設運営の質を一層向上させることを目指しております。詳細は以下の「研究参加と既存情報の提供についての公開情報」をご覧ください。

本件にご質問・ご意見がございます場合には、④試料・情報の管理についての責任者へお問い合わせください。

### 研究参加と既存情報の提供についての公開情報

| 項目                          | QIP   |
|-----------------------------|---|
| 整理番号                        | 170715  |
| ①試料・情報の利用目的及び利用方法、他の機関へ提供方法 | 匿名化された診療報酬データ（DPC データ）を、医療の質と活動の実態調査を行い公衆衛生の向上に与する目的に、暗号化通信による電子的送付あるいは追跡可能な宅配等により、京都大学へ提供する。   |
| ②利用し、又は提供する試料・情報の項目         | 厚生労働省により規定され作成された DPC データ(年齢・性別、病名、手術・処置・薬剤等の種類、外来受診回数、入院期間、医療費など)  |
| ③利用する者の範囲                   | 「医療の質と経済性に関する実態調査」を実施する研究者<br>研究責任者：京都大学大学院医学研究科医療経済学分野<br>教授 今中雄一<br>研究実態体制は研究責任者によるホームページをご参照ください。<br><a href="http://med-econ.uimin.ac.jp/disc/">http://med-econ.uimin.ac.jp/disc/</a> |
| ④試料・情報の管理についての責任者           | 情報担当責任者：岡山済生会総合病院 診療情報管理室<br>室長 荒木 美佳<br>086-252-2211 (大代表)、<br><a href="mailto:kikaku02@okayamasaiseikai.or.jp">kikaku02@okayamasaiseikai.or.jp</a>                                      |